

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 3 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	居室のポータブルトイレやトイレトーパー、パット類が見えるところに置いてある。又、共有トイレ使用時のドアの閉め忘れが見られるため、プライバシーへの配慮が必要。	プライバシーへの配慮を徹底し、入居者の不快感や羞恥心を軽減する。また、その他の場面でのプライバシーへの配慮の意識を高める。	居室内のポータブルトイレには、使用しない時間帯はカバー等の布をかぶせ目隠しをする。トイレトーパーやパット類についても、随時容易に使用できるよう目隠しとなる容器に収納したり、布を被せる。その他、入居者のプライベートな部分とその配慮について、現場での指導やユニット会議等で協議し、意識付けを行う。	1ヶ月
2	35	年間を通して、計3回の火災時の避難訓練を実施しているが、訓練後の反省から抽出できた課題をクリアできていない現状がある。災害時の実状に沿った訓練の実施が必要であり、自然災害についての訓練が充分でなく、食料等の備蓄も整っていない。	訓練のための訓練ではなく、実際の災害に備えての訓練、研修や活動を行い、全職員が災害時に適切に行動・連携をとれるよう実践力を身に着ける。二次災害への備え、備蓄品の整備を行う。	年間の防災対策計画を事業所で立て、毎月「防災の日」を設けて、避難訓練の実施や、防災設備の点検、緊急通報訓練等を密に行い、全職員に対して定期的な意識付けを図る。また、委員会と連携して必要な食料や物品等の備蓄を整備する。	12ヶ月
3	4	運営推進会議や家族会で、家族からの意見の抽出が十分にできておらず、運営に家族の意向を十分に反映できていない。	運営推進会議や家族会の開催方法を見直し、家族と職員が気兼ねなく意見を交わせるものにする。家族の意向を運営に反映させ、入居者の生活の質・サービスの質を高める。	「家族会」という名称を「えがお会」に改め、会の趣旨をご家族に説明する。意見を出しやすいよう、文書資料だけでなく写真を用いてわかりやすくしたり、飲食物をはさんでリラックスした雰囲気をつくる。開催場所も参加人数に対して広すぎない空間にする。協議するテーマに対し、具体例をあげてイメージをしやすくするほか、派生を促す。頂いた意見をその後の運営・活動に反映できたか、その内容を反省も踏まえて報告し、次の課題を共に見出していくことで方針を共有する。家族だけで話を交わせる場をつくる。	12ヶ月